

エネルギー革命で地域の自立

会津電力株式会社
佐藤 彌右衛門



豊かな会津

- 四方四里・・・ 他からものを持ち込まなくてもよい暮らし
- 地元の水・米・技を活かした伝統産業
- 独自の文化を活かしたまちづくり



2011年 東日本大震災・原子力発電所事故

- 事故当時の避難者16万人
- 現在でもなお4万人以上が避難
- 原子力発電はコストが安い？
→膨大な廃炉費用
- 火力発電では、年間28兆円の化石燃料費が外国に出ていく
地球温暖化への影響が大きい



地域の再生可能エネルギーを見直そう！

- 初期投資は大きいですが、燃料代ゼロ、CO2を出さない、事故時の危険が少ない



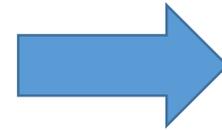
太陽光発電



風力発電



小水力発電



遠くから電気を運ぶより、発電所と消費者が近ければ、ロスも少ない！

会津電力の設立... 2013年8月1日

- ・燃料代を地域のなかで循環しよう
- ・持続可能で豊かな会津を子どもたちへ引き継ごう
- ・自治体、個人、企業より出資を受け、地域の会社に！



会津電力株式会社の理念と目的

理念 エネルギー革命による**地域の自立**

目的 ◎地元企業が再エネ事業を手掛けることで
人、資本、モノ、技術が地元に残る
首都圏企業主導の再エネ事業では、立地自治体に残るものはごくわずかです。

会津の企業が事業を行うと

◎雇用を作る

◎納税を増やすことが可能

弊社が掲げる「再生可能エネルギーの普及」は
「地域の自立」を実現するための手段です。



▪ 自治体…8市町村

喜多方市、磐梯町、猪苗代町、西会津町
北塩原村、只見町、三島町、昭和村

▪ 金融機関…5行

東邦銀行、福島銀行、大東銀行、
会津信用金庫、会津商工信用組合

▪ 企業…19企業

ゼビオホールディングス(株)、(株)会津ゼネラルホールディングス、
(株)リオン・ドールコーポレーション、生活協同組合コープあいづ 等

▪ 個人…48名

計80団体・個人

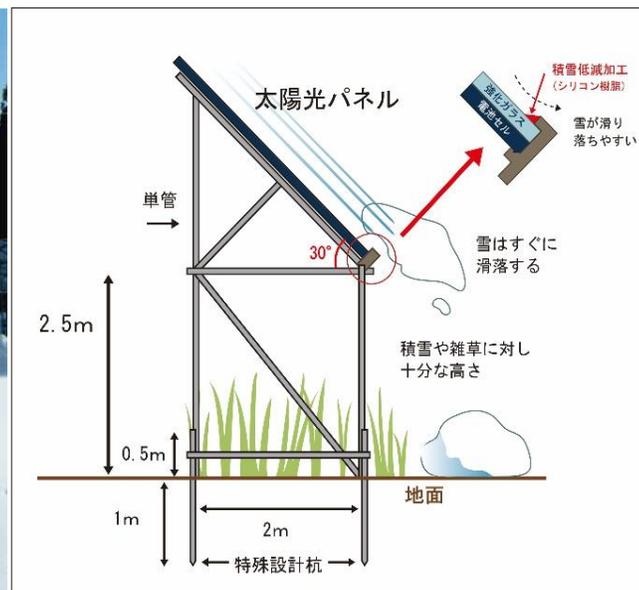


©2017年度より株主への配当を実施しております

会津電力 太陽光発電事業

小規模分散型

- ・ 未利用地の活用
- ・ 災害時の非常用電源として
地域住民が利用可能



積雪対応施工

- ・ パネルの角度を30°に設置
- ・ パネルの下に2.5mの高さ

会津電力 太陽光発電事業

雪国会津でも発電



ソーラーシェアリング (大和川ファーム様事業)



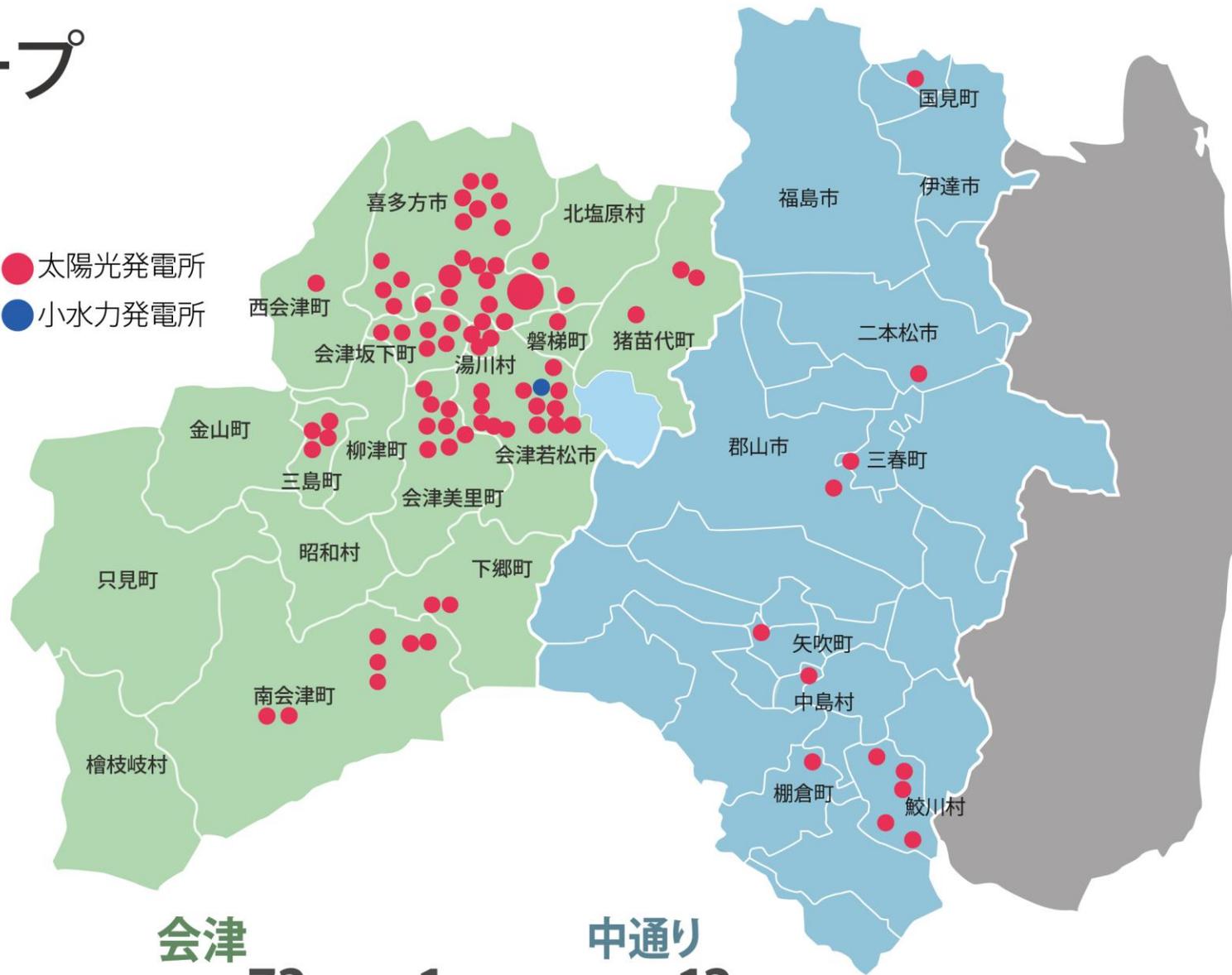
会津電力グループ 全発電所地図

2019年10月現在

太陽光
発電所 全**84**カ所
合計 **5,925** kW
一般家庭 約1,780世帯分

小水力
発電所 **1**カ所
戸ノ口堰小水力発電所
31 kW 一般家庭
約32世帯分

- 太陽光発電所
- 小水力発電所



全発電所
合計 **5,956** kW

会津 太陽光 **72** 小水力 **1** 中通り 太陽光 **12**

計 **85** カ所

バイオマス熱事業

2018年3月 バイオマスボイラー稼働

- ホテルにペレットボイラー2台を設置 ➡ 54室分の暖房と給湯を賄う
- 燃料費、CO2排出量削減



小水力事業 2019年4月 初の小水力発電所稼働

・戸ノ口堰小水力発電所

事業地点

福島県会津若松市一箕町八幡地内

設備概要

発電所形式: 流れ込み式

有効落差: 19.5m 導水路管長: 163.1m

水車形式: ポンプ逆転水車 水車流量: $0.236\text{m}^3/\text{s}$

最大出力: 31.4kW (定格出力38.0kW)

売電単価: 34円/kWh

売電先: 東北電力株式会社

運転開始: 2019年4月

※戸ノ口堰土地改良区の水利権を利用

※売電収入の一部は会津若松市へ寄付し、子ども達の教育に役立てていただきます。



風力事業 2021年 川内村での風力発電稼働を目指す

- 「川内電力株式会社」を3社で設立
会津電力株式会社
株式会社市民風力発電
株式会社アポロガス
- 福島県阿武隈地域に3基(9.6MW)
建設予定
- 収益の一部を地元川内村へ寄付



ワイナリー事業

- ・雄国山麓で無肥料・無農薬で育てたこだわりのブドウからワインを造るプロジェクト



2015年秋 ブドウ苗の植栽

2018年秋 初めてのワイン製造



- ・会津の農業の活性化を目指す
- ・ワイナリーを作り新しい観光拠点に

